

大分市立西の台小学校 学力向上プラン 1 (8月)

学校教育 目標	主体的に学び、自ら行動できる西の台っ子の育成
育成を目指す 資質・能力	自己変革力の育成【自律・協働・創造】

	学力状況について	学習状況について
児童 生徒 の 課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・県学力定着状況調査(5年)、全国学力・学習状況調査(6年)共に全ての教科、知識・技能、思考・判断・表現で県平均・全国平均を上回っている。 ・問題形式では「記述式」が「選択式」「短答式」に比べると正答率が低い。 ・理解度は高い児童が多いが、基礎・基本の定着が十分ではない児童がどの学年にも一定数見られる。 ・必要な情報を取捨選択し、論理的に自分の考えを書くことに課題が見られる。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・5年生までに受けた授業では、国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていましたか」の質問事項では、肯定的な解答をした児童は県平均より1.9%低く(自校80.9%、県平均82.8%)、書くことに対して課題を感じている児童も多い。 ・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問事項では、「当てはまる」と解答をした児童は県平均より4.7%低く(自校29.8%、県平均34.5%)、学んだことを振り返ったり次に生かしたりすることが課題である。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) 「自分の考えをまとめるときには、自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して書いている。」と回答する児童84.1% ⇒書くことに対し、苦手意識をもつ児童も一定数存在する。	
	1 組織的な授業改善の取組状況 ・「自分の考え」「その根拠・理由」などを話したり書いたりする活動を学習活動の中に積極的に取り入れている。 ・一時間あるいは単元等の振り返りの際は、視点を明確に提示し、自己の学びを価値付けたり振り返ったりできるようにしている。 ・ペア活動やグループ活動を効果的に取り入れ、自分の考えを表現・交流する場を設定している。 ・板書の構造化を行い、児童の思考を整理したり促したりしている。	
指導 の 状況	2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・基礎・基本の定着を図るため、家庭学習において基礎的・基本的な内容の課題を繰り返し取り組ませている。 ・家庭学習の習慣化のため、保護者と協力して取組の徹底、内容の工夫(宿題の個別対応)を行っている。 ・単元末テストの解説の際に、児童が苦手とする傾向のある問題を中心に解き直しを行っている。 ・一人1台端末のロイノートを使い、発表やプレゼンの授業で考えを伝え合う機会を設けている。 ・定期的な学校図書館利用を促したり読書の機会を確保したりすることで、語彙力や知識、論理的な思考力を身に付けさせようとしている。	

学力に関する達成指標

- ・「授業が分かりやすく楽しい」と回答する児童を90%以上にする。
- ・単元末テストの学期平均における低学力層(60点以下)児童の割合5%以下にする。

	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
今後の 具体的 な取組	〈授業改善のテーマ・重点〉 〈授業改善テーマ〉 考えや思いを伝え合うとともに、自己の学びを調整していく力の育成 〈授業改善の重点〉 考えや思いを伝え合う場の工夫、探究的な学びによる自己調整学習	
	〈取組内容〉 ・児童が自ら課題を見付ける場の設定 ・児童が自分の考えや根拠を書くことができる指導の工夫 ・自己の考えや思いを自分の言葉で伝え合う場の設定 ・学びを振り返り、次に生かせる取組の充実	〈家庭・地域の取組内容〉 ・家庭学習の習慣化、取組の徹底 ・自己調整学習を取り入れた家庭学習
	〈取組指標〉 ・児童が自ら課題を見つけ、見通しをもち課題解決に向け進んで学習に取り組めるような課題設定の仕方を工夫する。 ・自己の考えや思い、根拠を書く時間を確保した授業を実践する。 ・ペアやグループ、全体対話などの対話活動や発言をつなぐ工夫などにより、全員が思考する対話的な学びの授業づくりを行う。 ・自分の学びを振り返り、次に取り組みたいことなどを考えさせる振り返り活動を取り入れる。	〈家庭・地域の取組指標〉 ・各学年の学習時間(学年×10+10分)の徹底を図る ・じぶん創りホームワークへの助言、協力
	〈検証指標〉 ・「国語や算数の授業で、みんなで考えたいことを見付けることができた」と回答する児童90%以上(児童アンケート)にする。 ・「国語や算数の授業で、友だちの考えを大切に、協力しながら課題の解決に向けて話し合うことができた。」と回答する児童90%以上(児童アンケート)にする。 ・「国語や算数の授業で、学んだことや次にやってみようことなどについて振り返ることができた。」と回答する児童90%以上(児童アンケート)にする。	〈家庭・地域の検証指標〉 ・「お子さんは、じぶん創りホームワークに意欲的に取り組んでいる。」と回答する保護者90%以上(保護者アンケート)
	【授業改善以外の学力向上の取組】 ・一人一人が認められ、自尊感情が高められる共感的な学級経営・集団作り ・生徒指導の3機能、人権尊重の3視点を意識した授業実践 ・継続的な個に応じた学習指導 ・学校図書館の活用、読書指導 ・小中一貫教育の学習系統表に沿った「学習の約束」の徹底 ・じぶん創りホームワーク(自己調整学習)の取組や助言、支援 ・保護者と協力して家庭学習の取組の徹底、内容の工夫(宿題の個別対応)	